

08年8月15日 市警ニュース

JSS 和訳

## 共同謀議に関する捜査で、男に

### 11件の嫌疑。

08年春、警察は、デビット/クレジット・カード偽造装置製造に関する捜査を開始した。

疑われる事態の概要は、

－ 容疑者は、ボーン市ロイテック通り 27番地で、工業規模のクレジット・カード偽造所の操業責任をもっていた。

－ 捜査令状がこの住所に対して発行され、警察は、作成中の 217 もの ATM カード読み取り装置「オーバーレイ」と共に大掛かりな装置を発見した。

－ 「ATM オーバーレイ」とは、偽造クレジット/デビット・カードの製造のための、クレジット/デビット・カードのデータ及び個人認識番号「PINs」を不法に読み取るために、犯人によって ATM に装着される装置である。

－ この施設は、成型装置、電子機器、塗装部門、プリント基板製造装置を持ち、連続生産のための資材在庫を有していた。

－ この施設では、様々な場所で盗み読みされたクレジット・カードのデータの読み出しに使われていた。

－ 容疑者は、少なくとも 06 年からこの犯行に関与していた。

－ 操作中の押収されたコンピューターは、現在調査中である。これらのコンピューターには、何千ものクレジット/デビット・カードのデータが記録されていると見られる。

－ 容疑者は、08年6月17日(火)に逮捕された、以下の被告人と共謀した。

: Ronald Todorov, Raymond Todorov, Dimitar Jeliazov, Nikolay Jeliazov, Constantina Bogris, Elena Metev.

前出の関連ニュースを以下で参照されたい。

( <http://www.torontopolice.on.ca/newsreleases/pdfs/14314.pdf>)

8月13日(水)、ボーン市の Peytcho Peev 41才は以下の嫌疑で逮捕された。

- 1) 犯罪の共謀。
- 2) クレジット・カード偽造装置の所有。
- 3) クレジット・カード偽造装置の製造または修理。
- 4) クレジット・カード偽造装置の所有。
- 5) クレジット・カード偽造装置の所有。
- 6) 4件の、不正に入出したクレジット・カードのデータの所有。
- 7) クレジット・カード偽造装置の所有。
- 8) 偽造マークの露出。(訳者注 意味不明であるが、偽造したロゴなどの使用—塗装—が想像される)

この男は、8月14日(木)午前10時、カレッジパークの法廷 501号室に出廷する予定である。

### JSS 説明

クレジット・デビットカードの情報盗み出し、ならびに不正使用による詐欺行為は、数多い詐欺犯罪の中でも最も多くの被害をもたらしているものである。

ちなみに記事中にある、7月18日の警察発表は、トロント、ヨーク、ピールに散在しているこの種の犯罪拠点捜査で、8人が逮捕されたことを報じており、同記事で警察は、2007年の被害額は\$100Mを超えており、被害者数が15万9千人を超えると伝えている。

カードの偽造は、記事にある ATM に付加してカード情報を読み取る器具を用いるもの、インターネットを悪用して、被害者が送信したデータや、コンピューター内に保管しているデータを読み取るなどの方法で情報を盗み出し、その情報を使ってカードを偽造するケースが多い。

被害にあわないためには、通常付加されていない装置が装着されている、ないしは ATM キオスク内や周囲に不審なビデオなどの装置、または周囲に不審な人物がいる場合 ATM は使用しない、インターネットを通じて不用意に個人認識情報のやり取りをしない、e-メール、電話などによる、相手が認識できない場合の情報公表は行わない、コンピューターのセキュリティーを高め、不正な進入を防ぐなどである。